

本県における夜間中学の設置

「教育機会確保の施策の在り方等に関する検討委員会」の最終とりまとめにおける提言を踏まえ、本県初の県立夜間中学を、令和7年4月の開校を目指し、鹿児島市にある開陽高等学校の敷地内に設置する方針を決定。

教育機会確保の施策の在り方等に関する検討委員会 最終とりまとめ(概要)

- 夜間中学の設置など教育機会の確保等に係る施策の企画立案等については、基本的には、各市町村教育委員会が行うことが望ましいが、現段階では、県が設置した方が効率的・効果的であると考えられる。
- 県がモデル的に1校、設置すべきである。
- その上で、県は、夜間中学に関するニーズがある市町村に対し、夜間中学設置に係るノウハウを提供すべきである。
- 入学対象者の居住地別人数、交通の利便性等を総合的に考え、夜間中学は、鹿児島市内に設置されることが望ましい。
- 夜間中学の入学対象者は、鹿児島県在住の方で、戦後の混乱期等で義務教育未修了の方、形式卒業の方、本国で日本の義務教育相当の教育を受けられなかった外国籍の方等、様々な理由から義務教育段階の学びを十分に受けられなかった学齢期を経過した方を対象とすることが望ましい。
- 既存の施設の活用等により、できるだけ早期に設置することが求められる。
- 詳細な開校時期については、設置場所における施設の課題等もあるため、設置主体において、速やかに検討することが求められる。

【担当課】 義務教育課
課長 水島 淳
電話：099-286-5281